●情報・制御システム工学専攻

本専攻は，情報処理工学，情報伝送工学，システム制御工学，機能デバイス工学の４専修で構成されています。知的情報処理，言語工学，音声情報処理，システム／ソフトウェア工学，ディジタル通信工学を含む情報伝送，電磁波工学，光情報処理，パワー半導体を用いた電力変換，ロボット制御に関する研究，さらにシステムをハード面で支える各種機能素子の研究などを複数の専門領域から多角的に展開しています。

令和７年度４月入学生を募集する専修部門と指導教員及び研究内容

専修部門	指導教員	研究内容
情報処理工学	教授　博士(工学)　佐藤　寿倫	高性能・低電力・高信頼性システムアーキテクチャの研究
	教授　博士(工学)　髙橋　伸弥	音声・画像・大規模データの人工知能応用技術に関する研究
	教授　博士(工学)　中西　恒夫	組込みシステムとその開発方法論に関する研究
	教授　Ph.D.　モシニャガ・ワシリー	サイバーフィジカルシステムに関する研究
情報伝送工学	教授　博士(情報工学)　太郎丸　眞	ディジタル無線通信システムとソフトウエア無線機の回路と信号処理に関する研究
	教授　博士(工学)　孟　志奇	電磁波の応用技術と数値解析手法に関する研究
システム制御工学	教授　博士(工学)　岩村　誠人	マルチボディダイナミクス理論の開発とそのロボティクスへの応用に関する研究
	教授　博士(工学)　小浜　輝彦	スイッチング電源およびアナログ回路に関する研究
	教授　工学博士　根葉　保彦	電力変換器の開発と応用システムの研究
機能デバイス工学	教授　博士(工学)　末次　正	高周波スイッチング増幅器に関する研究，半導体実装に関する研究，機能性デバイスに関する研究
	教授　博士(理学)　鈴木　孝将	電子材料の物性に関するナノエレクトロニクス分野の研究
	教授　博士(工学)　名倉　徹	半導体集積回路に関する研究
	教授　博士(工学)　文仙　正俊	光情報記録，光情報処理や光計測に関する研究
	教授　工学博士　三島　健司	高圧力技術を用いた機能性材料創製に関する研究

授業科目，単位，担当者及び履修方法（令和６年度現在）

研究指導科目			
部門	授業科目	単位数	担当者
情報処理工学専修	情報処理工学特別研究Ⅰ	2	教授 博士(工学) 佐藤 寿倫
	情報処理工学特別研究Ⅱ	2	教授 博士(工学) 髙橋 伸弥
	情報処理工学特別研究Ⅲ	2	教授 博士(工学) 中西 恒夫
	情報処理工学特別研究Ⅳ	2	教授 Ph.D. ﾓｼﾆｬｶﾞ, ﾜｼﾘｰ
	情報処理工学特別研究Ⅴ	2	
	情報処理工学特別研究Ⅵ	2	
情報伝送工学専修	情報伝送工学特別研究Ⅰ	2	教授 博士(工学) 大橋 正良
	情報伝送工学特別研究Ⅱ	2	教授 博士(情報工学) 太郎丸 眞
	情報伝送工学特別研究Ⅲ	2	教授 博士(工学) 孟 志奇
	情報伝送工学特別研究Ⅳ	2	
	情報伝送工学特別研究Ⅴ	2	
	情報伝送工学特別研究Ⅵ	2	
システム制御工学専修	システム制御工学特別研究Ⅰ	2	教授 博士(工学) 岩村 誠人
	システム制御工学特別研究Ⅱ	2	教授 博士(工学) 小浜 輝彦
	システム制御工学特別研究Ⅲ	2	教授 工学博士 根葉 保彦
	システム制御工学特別研究Ⅳ	2	
	システム制御工学特別研究Ⅴ	2	
	システム制御工学特別研究Ⅵ	2	
機能デバイス工学専修	機能デバイス工学特別研究Ⅰ	2	教授 博士(工学) 末次 正
	機能デバイス工学特別研究Ⅱ	2	教授 博士(理学) 鈴木 孝将
	機能デバイス工学特別研究Ⅲ	2	教授 博士(工学) 名倉 徹
	機能デバイス工学特別研究Ⅳ	2	教授 博士(工学) 文仙 正俊
	機能デバイス工学特別研究Ⅴ	2	教授 工学博士 三島 健司
	機能デバイス工学特別研究Ⅵ	2	
部門共通	インターンシップ	2	（各指導教員）

特修科目			
部門	授業科目	単位数	担当者
	言語工学特論A	2	教授 工学博士 吉村 賢治
	言語工学特論B	2	（担当者未定）
	知能処理特論A	2	教授 博士(工学) 髙橋 伸弥
	知能処理特論B	2	教授 博士(工学) 鶴田 直之
	知能処理特論C	2	教授 工学博士 吉村 賢治
	情報処理工学特論A	2	教授 博士(工学) 佐藤 寿倫
	情報処理工学特論B	2	教授 Ph.D. ﾓｼﾆｬｶﾞ, ﾜｼﾘｰ
	情報処理工学特論C	2	教授 博士(工学) 中西 恒夫
	情報処理工学特論D	2	教授 博士(工学) 江田 孝治
	伝送素子特論	2	（担当者未定）
	情報伝送工学特論A	2	教授 博士(情報工学) 太郎丸 眞
	情報伝送工学特論B	2	（担当者未定）
	情報伝送工学特論C	2	教授 博士(工学) 孟 志奇
	情報伝送工学特論D	2	（担当者未定）
	パワーエレクトロニクス特論A	2	教授 博士(工学) 小浜 輝彦
	パワーエレクトロニクス特論B	2	教授 工学博士 根葉 保彦
	機械システム制御特論A	2	（担当者未定）
	機械システム制御特論B	2	教授 博士(工学) 岩村 誠人
	機械システム制御特論C	2	（担当者未定）
	機能デバイス工学特論A	2	教授 博士(工学) 文仙 正俊
	機能デバイス工学特論B	2	教授 博士(工学) 末次 正
	機能デバイス工学特論C	2	教授 工学博士 三島 健司
	機能デバイス工学特論D	2	教授 博士(工学) 名倉 徹
	デバイス材料工学特論	2	教授 博士(理学) 鈴木 孝将

1　学生の標準修業年限は３年とし，所定の授業科目について，合計16単位以上を修得しなければならない。ただし，優れた研究業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。

2　学生は，研究指導科目のうちから選定した一つの部門を専修部門とし，主指導教員及び副指導教員から授業科目の選択，学位論文の作成その他研究全般について指導を受けるものとする。

3　主指導教員は，専修部門の特別研究科目の担当者とする。

4　副指導教員は，専修部門又はこれと関連する部門の担当者のうちから主指導教員が選ぶものとする。

5　第１項の16単位は，原則として次の区分によって修得しなければならない。

(1)　研究指導科目のうちから，必修として専修部門の特別研究のⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ8単位，選択必修として専修部門の特別研究のⅤ，Ⅵ及び部門共通科目のうちから４単位，計12単位

(2)　特修科目から４単位以上

6　主指導教員が必要と認めた場合は，学際プログラム，他専攻，他研究科，全研究科共通科目又は他大学大学院の授業科目を履修し，これを特修科目の単位にあてることができる。

7　博士の学位論文は，専修部門について提出するものとする。

8　主指導教員が認めた場合は，学際プログラムの授業科目を履修することにより課程修了に必要な単位を修得することができる。

9　学際プログラムの授業科目，単位及び履修方法については，別表第７の第８に定める。